

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.76

2014.1

くしろ丹頂

賀
正



力強く駆ける挽馬

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
代表理事組合長 武藤 清隆 _____ 1
- 北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章 _____ 2
- 代表理事専務 對木 範誉 _____ 3
- 普及センターだより _____ 4
- 組合員組織 _____ 5・6
- 組織機構図 _____ 7・8
- 年始日程表 _____ 9

参 監 代

表

” ” ” ” ” ” ” ”

監

事 事 事

白 澁 富 村 成 藤 高 田 芳 大 松 梶 對 武 瀧

他 木 谷 坂 上 田 澤 橋 井 澤 坂 下 原 木 藤 澤
職 良 三 泰 純 常 達 博 改 博 英 範 清 義
員 一 雄 博 春 夫 哉 行 雄 行 治 文 勉 光 誉 隆 一

理 常 代 代 会
務 表 表 長
理 理 理 理
事 事 事 事
事 事 事 事

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長

武藤

清隆



組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成二十六年の新春を、御家族お揃いで迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

さて、私が昨年の五月に組合長に就任致しまして、早七ヶ月が過ぎようとしています。当初、ある程度は覚悟をしていたつもりではありましたが、現実には想像をはるかに超えるもので、毎日が悪戦苦闘の連続でした。そうした中で、浅学非才の私が今日を迎えられ、また、多くの組合員の皆様、そして役職員の支えがあったからこそと実感をしている所であり、また、この事に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

御案内の様に、一昨年の暮れに誕生した安倍首相率いる政府与党が、その支持率の高さを背景に、経済最優先の施策を展開していますが、結果円安株高が進行し、都

市部を中心に日本経済はデフレ脱却、GDPもプラス方向へと転換し、一見景気が上向いたとの観測が流されていますが、実際はどうでしょう。果たして国民の何割が実感としてその様に思っているかはなほ疑問です。逆に都市と地方の格差が増々開いただけの様な気がしてなりません。特に我々の様な一次産業に携わる者にとっては、生産資材等の高騰で経営の舵取りは増々大変になり、先行きの不透明感は増すばかりの一年でありました。

また、天候にも振り回された一年でもありました。一番草の収穫まではそこそこの天候に恵まれ、量的にも栄養価についても、ある程度の水準は確保されましたが、二番草の収穫時期には一ヶ月近く続いた天候不順により大幅な収穫遅れにつながり、又今年は近年に無い大豊作が期待されたデントコーンが、九月の台風十八号により

全地区に渡り倒伏がみられ収穫作業に大きな障害をもたらす結果となりました。さらに十一月には強風被害もあり、せめてお天道様ぐらい味方をしてほしいとの願いも完全に裏切られてしまいました。今後心配されるのは、この様な状況下で収穫された粗飼料が給餌された時、生乳生産等に相当の悪影響を及ぼす事です。農協としても悪影響を最小限に留めるべく組合員の皆さんに緊急対策として、二十五年度出荷乳量に応じて対応させて頂きました。どうか有効に活用頂きたいと思っています。

今や異常気象が常態化した現在においては、今年も繰り返される可能性は充分に考えられます。その事からすると、今後においては農協も含め経営者の皆様は、リスク回避に向けた事前の対応が必要ではないかと考えます。

さて、私が今一番危惧しているのは、酪農基盤の弱体化です。今現在、毎年全道で二百戸近くの離農があり、この先においてもまだまだ続くであろうと言われております。我、釧路丹頂農協も例外ではなく、合併後わずか七年で七十戸余りの仲間達が現場を離れてしまいました。加えて、今後の組合員意向調査によりますと、なんと九十戸を超える組合員が、後継者

がいない、あるいははつきりしないと実にショッキングな結果となりました。

それに加えてTPP問題であります。これまでも自由化する度に自給率が低下し、農業が衰退してきたにもかかわらず、強引に推進しようとする姿勢は容認されるものではありません。今、食料生産を犠牲にしてどんな未来があるのでしょうか。今後につきましても関係機関と連携して絶対阻止に向け取り組みなければと考えます。

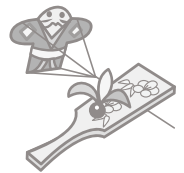
これまで述べてまいりました様に我々農業界、釧路丹頂農協を取りまく課題は山の様に存在します。この難局を乗り切る為には、現実としては現実としてしっかり受け止め、そこで今何が出来るのか、何をしなければならぬのか今こそ皆で知恵を出し合ひましょう。

農協としてもまじめに取り組む組合員、意欲を持って取り組む組合員が笑顔で営農に取り組める様、今年も組合員目線での事業運営を図って参りたいと思います。最後に今年こそ組合員、役職員が大きな慶びをもって出来秋を迎えられるそんな一年になります事を祈念申し上げ、年頭のご挨拶に代えさせて頂きます。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会



会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、希望に満ちた平成二十六年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました。そのような中、各種課題を克服しながら、一年間の営農にご尽力されたことに対して、改めて敬意を表します。

平成二十五年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。TPP交渉につきましては、三月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆・参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされる

よう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持って経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・JA改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道の

ような農業専業地帯の实情やJAグループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成二十四年十一月に開催した第二十七回JA北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成二十六年度は実践二年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJAの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今であります。今一度足元を見つめ直し、生産者の方々をはじめJAグループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。現在の地域農業やJAの基盤を築いた我々の先人も、その時々々の時代背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、JA・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏

まえ、最大限の努力を傾注していかねばなりません。

さて、過般、日本の「和食」がユネスコ(国際教育科学文化機関)の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといつても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものと存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではないと存じます。農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。今年の干支は、午年(うまどし)です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さっそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年を迎えて

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對木 範登



新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成二十六年の輝かしい新年を、ご健勝で迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、五月の役員改選に伴い、新たな常勤執行体制で進めて参りましたが、この間の組合員の皆様及び関係機関のご指導とご協力に改めて感謝とお礼を申し上げます。

我国の経済は、政権与党が変わり、安倍内閣のもと「アベノミクス」の三本の矢①金融緩和 ②財政出動 ③成長戦略が打ち出されました。日本経済は、数字的には一定の回復がされている様ですが、今後、益々地域格差社会が進むのではと懸念をする所であります。TPPに関しては、昨年末妥結に到らず越年し、ヤマ場を迎えておりますが、国会と自民党の決

議に基づき政府は、交渉からの「脱退も辞さない」との覚悟を強く内外に示し、交渉に臨むべきだと思ふ所であります。

昨今、世界的な異常気象において、穀物生産に深刻な影響を及ぼしている中、自給率向上への思い切った政策が急務であると考えます。農業に対して「十年間での所得倍増論」が打ち出されておりますが、新規就農者を含む手後継者の育成・農地の維持確保・基盤整備等について末端の組合員の所得増に繋がる様な政策を強く期待し望む所であります。

さて、JAにおいては「第八期生乳生産安定対策」（平成二十四年～平成二十六年）の増産基調のもと、組合員の皆様におかれましては、それぞれ鋭意努力された所でありますが、予想以上の搾乳農

家の減少、一昨年の記録的残暑で受胎時期がずれ込んだ事、また、八月中旬以降の天候不順により乳房炎・疾病等が多発し、前年を下回る結果となりました。一番草においては、概ね良質の粗飼料が確保されたものの一部刈り遅れの牧草ロールが散見され、更には九月の台風によるデントコーンの倒伏、総体的には品質の低下が予想され、今年度及び次年度への影響を懸念する所であります。

昨年の組合員の農家経済状況は、生乳の増産基調・乳価の値上げ・畜産物（牛乳・肉牛・馬等）が高値に推移したものの、燃油・配合飼料・生産資材等の高止まりで昨年にも増して厳しい収支状況となりました。

新年度の営農計画では、生産体制の立て直しと、経営収支の改善のための経営管理の徹底、コスト削減等、農家戸々のより一層の努力が必要な年となりそうです。

この様な厳しい状況の中、昨年のJA北海道大会の決議事項である「持続可能な北海道農業の実現」及び「次代を担う協同の実践」

の各重点目標の推進を通じて、更には次年度から平成三十年までの「地域農業振興計画」「JA中期経営計画」の初年度で、今後五ヶ年の指針として重要な計画であり、現在、組合員の意向調査等を確認しながら、細部にわたり作業を進めている所であります。

今後共、JAが組合員の期待に応え、農業経営の安定と向上を目指し、役職員一丸となり日々努力する事が使命である事を再認識し、組合員の皆様と共に決意を新たに参る所存でありますので、引き続きご指導、ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が健勝でご多幸の一年となります様、心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

冬期間に気をつけたい 農場管理のポイント

寒い日が続いています。冬は低温で、凍結・積雪があり、日照時間が短い季節です。

今回は、そんな冬期間に気をつけたい農場の管理についてポイントを整理してみました。

ミルカーの洗浄温度管理

冬に生菌数が高くなる場合は、洗浄温度の不足が考えられます。

厳寒期はパイプライン自体が冷えているため、循環洗浄の間に洗浄水の温度が低下しやすくなります。

排水温度が四〇度未満の場合、循環洗浄時間や水温を確認し、原因をみつけましょう。

ボイラーの容量不足が原因の時には、入れ替えの検討が必要です。



まずは排水温度を確認

子牛は観察を徹底

日照時間の短い季節、朝夕のほ乳時の観察では、周辺が薄暗いため、子牛の変化を見落としやすくなります。

冬場に体調を崩す子牛が増える場合、寒冷対策に加え、いつも以上に意識した観察を心がけましょう。

冬期間の子牛の観察（例）

- * 明るい時間帯に観察機会をつくる。
- * 薄暗い時間帯には、懐中電灯等で照らして観察する。



ネックウォーマーで寒冷対策
プラス観察徹底で冬乗り切る

サイレージの取り出し

サイレージは、サイロに積もった雪を取り除いてから取り出します。

サイロ上の雪が溶けてサイレージに混入すると水分が変動し、牛の乾物摂取量にも影響します。

舎飼いの換気

舎飼いに換気が不足すると、乳牛から蒸散する多量の水分が牛舎にこもり、結露します。

牛の健康のために新鮮な空気は欠かせません。牛舎を閉め切りがちな寒冷期こそ、換気は大切です。

冬の換気対策（例）

- * 日中に南側の窓を開放する
- * トンネル換気がある場合は低速で稼働する。



結露した窓。日中の暖かい時間帯だけでも換気しましょう

給水施設周辺の環境と水温

凍結する季節の水管理に苦慮されている方は多いと思います。

水は乳牛が最も多く摂取しているもので、採食量にも影響します。「いつでも十分な量の水が飲める環境」のため、できる限りの対策を考えましょう。

水槽周辺の凍結対策（例）

- * 凍結した水をつるはし等で割る。
- * 水槽の足もとにゴムマットを敷く（牛の移動により水が割れやすくなる）。



水槽周辺が凍結し、水が飲めない状況。こうなる前に対策を。

策を考えましょう。

水温も冬の課題のひとつです。牛にとつての最適水温は十七度程度で、冷たい水は飲水量の制限要因となります。

冬の水温管理は困難ですが、まずは表面に張った氷を取り除くことから始めましょう。投げ込み型ヒーターで水温を上げるという方法もあります。

また、特に寒さに弱い子牛へは、ぬるま湯を給与しましょう。

（平成二十五年十二月作成）

J A くしろ丹頂組合員組織

あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 吉田 鈴子

釧路丹頂農協青年部

部長 瀬戸 賢成

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 折笠 文則

釧路丹頂和牛改良組合

組合長 成田 俊英

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 渡部 隆信

幌呂大型機械利用組合

組合長 大 裕 晋 二

鶴居宮農組織代表者協議会

会長 千葉 喜好

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治

JAくしろ丹頂組合員組織

本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高橋 文雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 田口 秀男

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 野上 敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 山田 巧

白糠町野菜生産組合

組合長 細谷 照雄

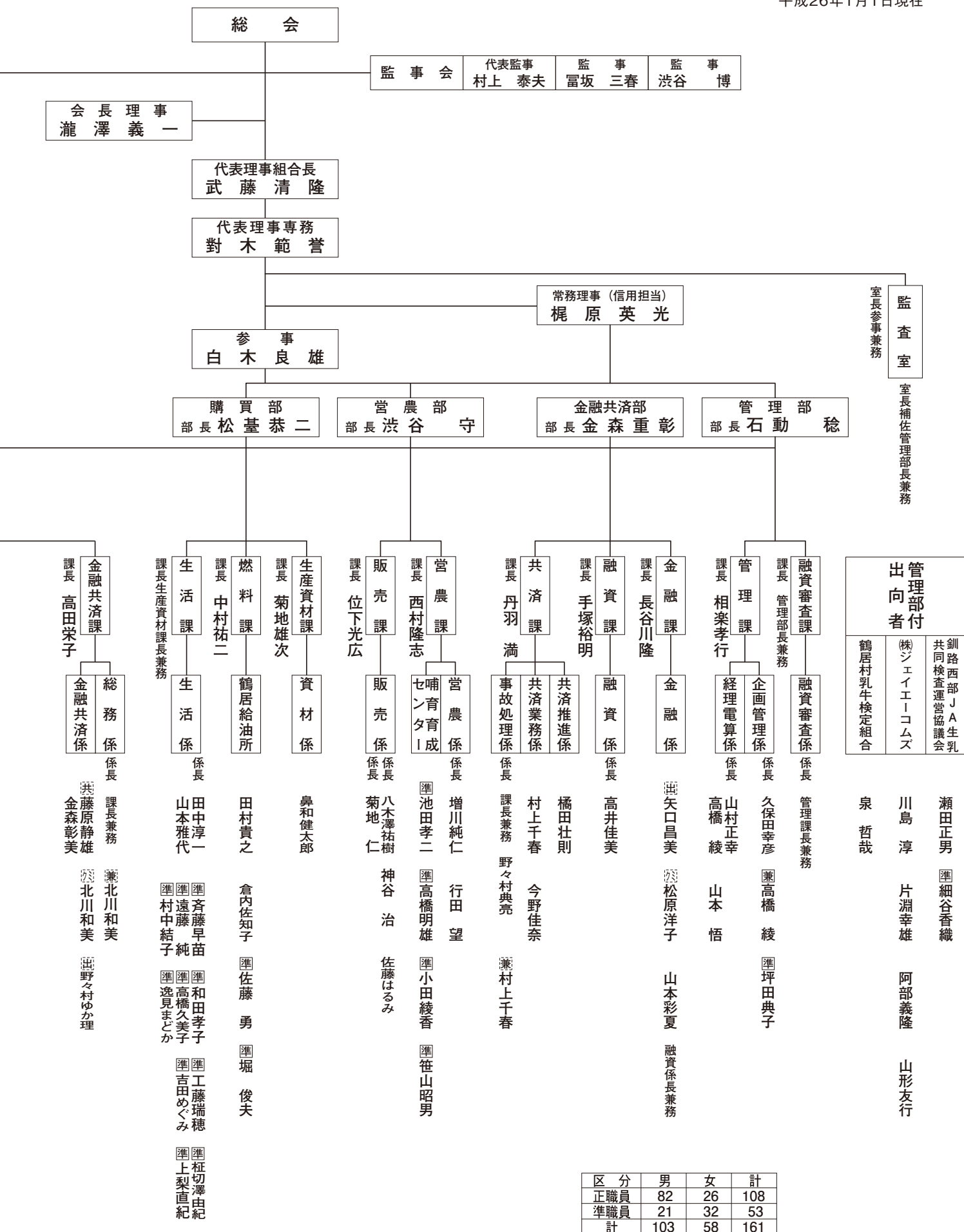
白糠町農民組合

執行委員長 芳澤 浩一

白糠町農村青少年クラブ

会長 照井 優





JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	各 地 区 の 事 務 所			販 売			家畜改良 鶴居・幌呂 白糠・音別	生 乳	哺育育成 センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白 糠	音 別				
平成26年 1 月 1 日(水)								通 常 業 務		
1 月 2 日(木)							業務始め*			
1 月 3 日(金)										
1 月 4 日(土)		A T Mのみ (14時まで)								
1 月 5 日(日)										
1 月 6 日(月)	業務始め		業務始め	業務始め						

年月日	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成26年 1 月 1 日(水)											
1 月 2 日(木)											
1 月 3 日(金)		業務始め			業務始め*						
1 月 4 日(土)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1 月 5 日(日)									午後6時まで		
1 月 6 日(月)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営 業 日	休 業 日
-------	-------

・ 万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎ 0120-258-931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、菊地雄次 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸 (57-8388) に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、田中郁尚 (090-3116-1508) に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、田中郁尚 (090-3116-1508) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所 (荒木購買課長080-5471-3582) か (御沓(ミクツ)職員080-5471-3621) に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、田村 (自宅2-2641 携帯090-7647-4585) に連絡して下さい。

- ・ 給油スタンドに関することは、給油所 (2-2084) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・ A コープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・ 生産資材に関することは、林 (6-2529) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・ 12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。

☐ 新年明けましておめでとうございます。本年が皆様方にとりまして大変良い年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE

☐ 表紙の写真は、平成25年10月に釧路市大楽毛で開催された第1回釧路鞍馬大会時の力強く前へと前進する鞍馬の雄姿です。

☐ 本年も広報誌「たんちょう」作成にあたり、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。